

生涯学習推進基本指針進捗状況

1. 市民の学びを支える

(1) 学びのきっかけづくりと学びの場(機会)の提供

① 市民が自発的に学習できる機会の提供

主な事務事業	概要	事業内容		今後の方向性	備考
		具体的な取り組み(実績)			
		R2年度	R3年度		
生涯学習市民センター活動委員会事業 【文化生涯学習課】	市内各生涯学習市民センターで市民と行政が協働(活動委員会)で生涯学習事業を実施	サンプラザ生涯学習市民センター・生涯学習情報プラザを除く7センターに活動委員会を設置 ◆活動委員会(7センターに設置)事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①楠葉 12事業 223人(内10事業コロナで中止) ②さだ 9事業 52人(内7事業コロナで中止) ③御殿山 4事業 364人(内2事業コロナで中止) ④牧野 6事業 106人(内4事業コロナで中止) ⑤津田 11事業 174人(内6事業コロナで中止) ⑥菅原 19事業 94人(内16事業コロナで中止) ⑦南部 12事業 984人(内7事業コロナで中止)	サンプラザ生涯学習市民センター・生涯学習情報プラザを除く7センターに活動委員会を設置 ◆活動委員会(7センターに設置)事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①楠葉 7事業 234人(内2事業コロナで中止) ②さだ 10事業 109人(内3事業コロナで中止) ③御殿山 8事業 82人(内4事業コロナで中止) ④牧野 10事業 150人(3事業コロナで中止) ⑤津田 10事業 568人(内6事業コロナで中止) ⑥菅原 13事業 779人(内1事業申込なしで中止、内1事業コロナで中止) ⑦南部 11事業 2,290人(内3事業コロナで中止)	現状維持	④牧野の10事業にはYoutube配信した2事業を含む。
ひらかた市民大学開催事業 【文化生涯学習課】	学園都市ひらかた推進協議会事業として開催 市内5大学との連携・協力により、特色ある各大学の専門知識等を生かして学習できる講座を市民に提供	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施。令和2年度は実施希望のあった2大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 61人 ②大阪歯科大学 40人	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施。令和3年度は市内全5大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 49人 ②大阪歯科大学 28人 ③関西外国語大学 36人 ④大阪工業大学 50人 ⑤摂南大学 26人	現状維持	
生涯学習事業 【文化生涯学習課】	他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施。	◆主な生涯学習事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①生涯学習講座「もっと知りたい枚方市の取り組み」 1講座 1回 41人 ②マナビスト講座 3講座 17人(内2講座 コロナのため中止) ③初級人形劇講習会 1講座 (コロナのため中止) ④サンサン人形劇場 9回(内4回コロナのため中止) 201人	◆主な生涯学習事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①生涯学習講座「もっと知りたい枚方市の取り組み」 1講座 1回 17人 ②マナビスト講座 3講座 49人 ③初級人形劇講習会 1講座 5人 ④サンサン人形劇場 9回 381人 ⑤サンプラザ生涯学習市民センター主催講座 1回 18人	現状維持	

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
文化芸術創造拠点形成事業 【文化生涯学習課】	枚方市文化芸術振興計画に基づき、具体的な事業を実施する。 市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センター指定管理者との共催又は委託による事業のほか、直営で小中学生を対象とした将棋教室等を開催。 また、文化芸術アドバイザーの提案事業や連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開する。	◆枚方市文化芸術アドバイザー事業 【平田オリザ氏】 ①市立小学校6年生を対象とするコミュニケーション授業(10日間)(コロナで中止) ②中・高校生を対象とする演劇基礎ワークショップ(コロナで中止) 【わかぎゑふ氏】 市民を対象に演劇「長い長い恋の物語」を上演(コロナで中止) 【辰巳満次郎氏】 ①能楽講座を実施。参加者113人、②能楽公演(コロナで中止) 【市川克明氏】 ①中学1年生～高校2年生を対象に、ひらかたジュニア吹奏楽団のメンバーを選出するオーディションを実施。参加者36人 ②ひらかたジュニア吹奏楽団のメンバーに対し、プロによる楽器別指導を実施。参加者33人 ◆大阪フィルハーモニー交響楽団との連携事業 市民特別鑑賞取扱公演として、大フィルの定期公演等に市民優待価格を設け、年4回実施。※当初5回予定していたが、5月29日に開催予定であった「ソフレ・シンフォニーVol.15」はコロナで中止。 ◆ひらかた将棋イベント ①初級コース 参加者 10人 ②中級コース 参加者 20人 ③上級コース 参加者 6人 ◆枚方市文化芸術アウトリーチ事業 小学校16校にアーティストバンク登録アーティストを派遣。参加人数 2,077名 ※当初22校予定していたが、6校はコロナで中止。 ◆若手芸術家支援事業 アートスプラウトパフォーミングアーツvol.8～9(うち、vol.9はコロナで中止) 入場者 89人 無観客の会場で実演を収録し、その動画をWEB版で市民に配信する「アート・スプラウトWEB版」を16回実施し、市公式YouTubeで配信。	◆枚方市文化芸術アドバイザー事業 【平田オリザ氏】 ①市立小学校6年生を対象とするコミュニケーション授業(4小学校) 参加者 235人 (当初8小学校の予定であったが、4小学校は新型コロナウイルスの影響で中止) ②市民を対象に演劇「東京ノート」を上演(3公演) 参加者 670人 【わかぎゑふ氏】 市民を対象に演劇「12人のおかしな大阪人～2021」を上演(3公演) 参加者 819人 【辰巳満次郎氏】 能楽公演「辰巳満次郎「船弁慶」×野村萬斎「末廣かり」」を実施 参加者 1,420人 【市川克明氏】 「ひらかたジュニア吹奏楽団“WINDS”」の事前練習を6回(当初12回の予定であったが、新型コロナウイルスの影響でうち6回は中止)行い、大阪フィルハーモニー交響楽団との共演を実施 参加者 1,310名 ◆大阪フィルハーモニー交響楽団との連携事業 枚方市総合文化芸術センター開館記念として、「大阪フィルハーモニー交響楽団特別公演」を開催し、そのなかで「ひらかたジュニア吹奏楽団“WINDS”」との共演も行った。 参加者 1,310名 ◆ひらかた将棋イベント 令和3年7月24日の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ◆枚方市文化芸術アウトリーチ事業 小学校28校にアーティストバンク登録アーティストを派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により全校中止 ◆若手芸術家支援事業 アートスプラウトパフォーミングアーツとして2公演を開催 「DUO・GRANDE ヴァイオリン&ヴィオラコンサート」参加者 276人 「永井晶人ピアノリサイタル」参加者 289人	現状維持	
文化芸術補助事業 【文化生涯学習課】	枚方市文化国際財団が実施する演劇・音楽・映画等の文化芸術事業の実施に係る経費に補助金を交付する。 【対象】 ①文化事業の実施 ②文化事業を円滑に行うための財団運営に係る経費	◆主な演劇・音楽・映画等の文化芸術事業 【音楽】 大阪フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる室内楽演奏シリーズvol.5 参加者 251人 ※vol.6はコロナで中止 【映画】 ①「あん」参加者 301人 ②「引越し大名！」参加者 117人 【美術】 くずはアートギャラリー企画展 3回 入場者 437人 ※4回実施予定であったが、1回はコロナで中止 その他、様々な事業を実施予定であったが、多くがコロナで中止となった。	公益財団法人枚方市文化国際財団は令和3年3月31日をもって解散したため、実績なし	廃止	
市民ギャラリー主催事業 【文化生涯学習課】	美術鑑賞活動と文化交流の場として、「企画展」、「ひらかた工芸展」及び「公募展」を開催	◆企画展 コロナのため実施予定の5事業すべて中止 ◆ひらかた工芸展 ①開催日 10月2日(金)～10月7日(水) ②出展数 84点 ③入場者数 840人 ◆公募展 ①開催数 3回(内2回コロナで中止) ②出展数 98点 ③入場者数 977人	◆企画展 ①開催数 3回(内1回はコロナで中止) ②総入場者数 684人 ◆公募展 ①開催数 1回 ②出展数 80点 ③入場者数 168人	終了	市民ギャラリーは令和3年9月末をもって閉館となった。なお、事業等は新設の総合文化芸術センターに引継ぎを行った。
市民企画イベント促進事業 【文化生涯学習課】	市民が企画する、広く市民を対象とする文化芸術に係る事業を実施しようとする団体に対して支援を実施	【実施実績】 ①申請団体数 1団体 ②支援団体数 1団体	【実施実績】 ①申請団体数 7団体 ②支援団体数 5団体	現状維持	

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
農業ふれあい体験事業 【農業振興課】	市内の小学生を対象に農業者の指導のもと食農体験学習を実施	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に関する情勢を踏まえ、中止	◆小学生による農作業や試食等の体験 5小学校(参加児童471人) ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に関する情勢を踏まえ、実施しない小学校も多かった。	現状維持	
介護予防普及啓発事業 【健康づくり・介護予防課】	高齢者の生きがいづくりと社会参加の契機とするため、生涯学習情報プラザを拠点に「生きがい創造学園」を開講し、概ね60歳以上の市民を対象としてパソコン講座や書道入門などの通常講座のほか短期講座として水泳教室等を実施	◆生きがい創造学園 講座の応募業務を行うも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	◆生きがい創造学園 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1年を通して15回の講座である「生きがい創造学園」については、感染状況が見通せない中では開催が困難と判断したため、契約締結に至らず。	見直し 令和4年度及び令和5年度については、公民連携手法の一つであるPFSを活用した新たな介護予防事業に取り組んでおり、そこで得る知見を生かし検討していく。	
枚方公園青少年センター青年文化事業 【子ども青少年政策課】	青少年の文化活動の支援を図るべく、学習事業として青少年講座フリーゼミナール、夏休みチャレンジ教室などの青少年教室、文化事業として枚方市少年少女合唱団、枚方公園ユーススクエア(サンサン人形劇)などを実施	◆主な青年文化事業 開催回数及び参加者数 ①枚方公園ユーススクエア(コロナで中止) ②青年祭でのバンドライブ(コロナで中止) ③枚方市少年少女合唱団による定期発表会及びイベント出演(コロナで中止) 団員40(内訳 小学生13人、中学生18人、高校生9人) ④照明、音響講習会等の講習会(コロナで中止) ⑤1Dayフェスティバル(コロナで中止)	◆主な青年文化事業 開催回数及び参加者数 ①枚方公園ユーススクエア 1回 72人 ②青年祭でのバンドライブ(コロナで中止) ③枚方市少年少女合唱団による定期発表会及びイベント出演 3回 団員37人(内訳 小学生13人、中学生15人、高校生9人) ④照明講習会 2回 13人、音響講習会(コロナで中止) ⑤1Dayフェスティバル(コロナで中止)	現状維持	
環境教育推進事業 【環境政策課】	環境教育出前講座を開催するとともに環境白書、環境副読本の発行・配布による環境情報の発信などにより、市民一人ひとりの年齢や社会的役割に応じた多様な環境教育の機会を提供	◆主な環境教育事業 ①幼児のための環境教育出前講座 開催数 11回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計11園 ②環境教育、学習プログラムの普及 ③環境白書、環境副読本、の発行や配布による環境情報の提供 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付	◆主な環境教育事業 ①幼児のための環境教育出前講座 開催数 27回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計24園 ②環境教育、学習プログラムの普及 ③環境白書、環境副読本、の発行や配布による環境情報の提供 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付	現状維持	
文化財活用事業 【文化財課】	市民の文化財に対する認識を深め、文化財保護意識の高揚を図るため、文化財に関する各種催しを実施	◆主な文化財活用事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①文化財報告会・市民歴史講座「緒方洪庵の感染症対策」 63人 ②大阪府実施事業「生駒山麓ウォーク」(特別史跡百済寺跡等の案内) 82人 ③市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊-枚方宿を歩こう-」 17人 ④市民歴史講座「枚方市内の中・近世石造物の石材とその産地」 48人 ⑤ジュニア文化財学級「ひらかた謎とき考古学」(コロナで中止) ⑥文化財防火デーに伴う消防訓練「光善寺」(コロナで中止) ⑦市民歴史講座「枚方田中邸のむく」(コロナで中止) ⑧市民歴史講座「枚方市域における日露戦争関係史料」(コロナで中止) ⑨市内歴史ウォーク「歩いてみよう! 楠葉」 7人 ⑩考古学講座「遺物にふれてみよう!」 8人 ⑪地域歴史講座 第1回 「初歩の初歩 蹉跎の歴史」(教育政策課と共催) 25人 ⑫古文書講座 入門講座 5回 164人、中級講座(コロナで中止)	◆主な文化財活用事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①HIRATAKARAクイズラリー 102人 ②文化財報告会・市民歴史講座「芋代官と楠葉村中井家」 47人 ③ジュニア文化財学級「ひらかた謎とき考古学」 19人 ④市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊-枚方宿を歩こう-」 46人 ⑤市内歴史ウォーク「歩いてみよう! 枚方寺内と枚方宿」 14人 ⑥文化財防火デーに伴う消防訓練「旧田中家鋳物民俗資料館」(コロナで中止) ⑦市民歴史講座「継体大王をとりまく女性たち」 83人 ⑧考古学講座「土器にふれてみよう」 5人 ⑨市民歴史講座「枚方市域における日露戦争関係史料」 45人 ⑩古文書講座 入門講座 5回 209人、中級講座(コロナで中止)	現状維持	

生涯学習推進基本指針進捗状況

1. 市民の学びを支える

- (1) 学びのきっかけづくりと学びの場(機会)の提供
- ② 現代的・社会的課題に関する学習機会の充実

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
人権啓発事業 【人権政策室】	「枚方市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、人権週間事業や各方面で活躍している人の体験や生き方から人権問題を学ぶ「連続講座『生きること』」などの各種講演会の開催、情報提供、冊子作成を実施	◆主な人権啓発事業 開催回数及び参加者数 ①講座冊子「生きること」の作成 ②連続講座「生きること」 4回 200人 ③人権文化セミナー 1回 91人 ④人権週間事業(コロナで中止)及び北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 メセナひらかた会館ロビーにおけるパネル展示のため参加者数不明	◆主な人権啓発事業 開催回数及び参加者数 ①講座冊子「生きること」の作成 ②連続講座「生きること」(4回) 199人 ③人権文化セミナー (1回) 140人 ④人権週間事業 (1回) 300人 ⑤北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 総合文化芸術センター関西医大小ホールロビーでのパネル展示のため参加者数不明	現状維持	
DV防止事業 【人権政策室】	DV防止啓発講座やDV被害者支援研修を開催 DV被害者支援体制の充実を図るため専門相談窓口として、枚方市配偶者暴力相談センター「ひらかたDV相談室」を開設	◆主なDV防止事業 開催回数及び参加者数 ①DV被害から回復するための教育プログラム(講座)など 4回 50人 ②DV予防教育プログラム 1,756人 ・8小学校 18学級の4年生 499人 ・6中学校33クラス 1,257人 ③教職員研修 199人(8小学校の教職員)	◆主なDV防止事業 開催回数及び参加者数 ①DV被害から回復するための教育プログラム(講座)など 4回 19人 ②DV予防教育プログラム 2,594人 ・10小学校 27学級の4年生 762人 ・9中学校49クラス 1,832人 ③教職員研修 247人(10小学校の教職員)	現状維持	
男女共同参画啓発事業 【人権政策室】	男女共同参画の推進をめざし、各種啓発講座等や、市民団体参加の実行委員会形式で「ウィルフェスタ」を開催。また、男女共同参画を目指す情報誌「モアメイム」「男女共生フロアだより」を発行 市民の自主学習や団体活動の支援及び相互の連携、交流を支援	◆主な男女共同参画啓発事業 開催回数及び参加者数 ①男女共同参画週間事業講演会 (コロナで中止) ②啓発講座等 11回 99人 ③ウィルフェスタ (コロナで中止)	◆主な男女共同参画啓発事業 開催回数及び参加者数 ①男女共同参画週間事業講演会 (動画配信及び動画上映会) 254人 ②啓発講座等 (動画配信含む) 11回 694人 ③ウィルフェスタ (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	見直し	ウィルフェスタを令和3年度で終了。令和4年度からウィルフェスタに代わる新しい事業を市民団体と協議中。
平和に関する啓発事業 【人権政策室】	・市民への日本国憲法の理念の定着や平和意識の醸成のため啓発事業を実施 ・非核平和都市宣言の啓発と、核兵器の廃絶を求め、平和な社会を実現するための啓発 ・「枚方市平和の日」のある3月を平和月間と位置付け、各種の平和に関する取り組みを実施	◆主な非核平和都市宣言推進事業 開催回数及び参加者数 ①憲法のつどい(コロナで中止) ②ひらかた平和フォーラム(コロナで中止) ③平和の燈火(あかり) 参加者数 約1,000人 ④夏季平和事業 平和資料室特別展絵本「スズキコージ『ドームがたり』原画展」参加者数 667人 平和ライブラリーコンサート(コロナで中止) 平和と学びポスター展 市役所別館1階で開催のため参加者数不明 ⑤平和ライブラリーコンサート 春(コロナで中止) ⑥妙見山煙突見学会(2回、うち春の見学会はコロナで中止) 参加者数 129人 ⑦市内の戦争遺跡ウォーキングツアー(1回) 参加者数 16人 ⑧企画展「杉原千畝とユダヤ人の逃亡した足跡—寿福滋 写真展」(コロナで中止) ⑨「禁野火薬庫の爆発」ミニパネル展 市役所別館1階で開催のため参加者数不明 ⑩第四中学校 平和レポートパネル展 市役所別館1階で開催のため参加者数不明	◆主な平和に関する啓発事業 開催回数及び参加者数 ①憲法のつどい(動画配信にて実施) 動画視聴者数 106人 ②ひらかた平和フォーラム(コロナで中止) ③平和の燈火(あかり)(1回) 参加者数 約1,000人 ④夏季平和事業 夏季平和パネル展 市役所別館1階で開催のため参加者数不明 平和資料室特別展絵本「AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争」参加者数 825人 夏季平和映画会「この世界の(さらにつつもの)片隅に」(1回) 参加者数 126人 平和ライブラリーコンサート(1回) 参加者数 85人 ⑤妙見山煙突見学会(2回) 参加者数 521人 ⑥市内の戦争遺跡ウォーキングツアー(1回) 参加者数 12人 ⑦企画展「杉原千畝とユダヤ人の逃亡した足跡—寿福滋 写真展—」 1,271人 ⑧「禁野火薬庫の爆発」ミニパネル展 市役所別館1階で開催のため参加者数不明 ⑨平和ライブラリーコンサート 春(1回) 105人	現状維持	

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
地域防災推進員育成事業 【危機管理対策推進課】	各校区自主防災組織の選出者と一般公募による参加者を対象に防災に関する知識と技能を習得するための外部講師による座学、消防吏員の指導による救出・救助用資機材・消火器の取扱い方法などの実技を行う地域防災推進員育成研修会を開催	◆地域防災推進員育成研修会 令和2年11月14日(土)、12月5日(土)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症により令和3年2月20日(土)に延期となった。しかし、延期後も感染拡大が続いた為、令和2年度は中止となった。	◆地域防災推進員育成研修会 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、受講者の縮小と受講期間の短縮を行い、令和3年12月4日(土)のみの研修とした。また、消防署や消防団による指導は行わず、危機管理職員が実技訓練を実施した。	現状維持	
消費生活センター機能拡充事業 【消費生活センター】	消費者行政・推進事業補助金を活用し、消費生活センター機能の充実及び消費者行政の啓発充実を図る事業を実施	【事業実績】 ①教育機関への消費者教育支援(小学校5校、教職員向け研修1回 計1,200人) ②消費生活相談員への研修支援 ③啓発物品の購入(DVD1本) ④「詐欺被害防止用ポップアップシール」の作成	【事業実績】 ①教育機関への消費者教育支援(市内小中学校の児童・生徒、教職員及び保護者への研修 計23,414人) ※全児童・生徒等が受講できるよう、令和3年度より動画配信方式に改めて実施 ②消費生活相談員への研修支援 ③「ポケットティッシュ」及び「クリアファイル」の作成	現状維持	
朝鮮語教室運営事業 【文化生涯学習課】	ハングルの学習を通じて、隣国である朝鮮半島の歴史、文化、風俗、習慣、生活、儀礼を理解し、同じ地域社会の構成員としての交流を深め、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流を推進	【開催実績】 ①参加延べ人数 418人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター ③開催回数 22回(年間)(コロナのため一部期間で事業を中止)	【開催実績】 ①参加延べ人数 937人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター ③開催回数 36回(年間)	現状維持	
自殺予防対策事業 【保健医療課】	自殺予防に係る情報提供と啓発	◆ゲートキーパー養成研修の実施 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、未実施。 ◆自殺予防啓発(デジタルサイネージ) 場所:京阪電車 枚方市駅構内 実施回数:2回 ◆自殺予防啓発グッズ・冊子の配布 場所:保健所等 実施回数:2回	◆ゲートキーパー養成研修の実施 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、未実施。 ◆自殺予防啓発(デジタルサイネージ) 場所:京阪電車 枚方市駅構内 実施回数:2回 ◆自殺予防啓発グッズ・冊子の配布 場所:保健所等 実施回数:2回 ◆広報ひらかたへの啓発記事掲載 実施回数:2回(9月・3月)	現状維持	
精神保健福祉事業 【保健医療課】	精神障害者の早期治療、社会復帰や自立を促進するため、精神科医等によるこころの健康相談を行うとともに、講演会の開催等精神疾患に関する正しい知識を普及・啓発	◆講演会等による普及・啓発 ①精神保健講演会 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、未実施 ②精神保健家族教室 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、未実施 ◆モバイルメンタルチェックシステム「こころの体温計」の実施	◆講演会等による普及・啓発 ①精神保健講演会 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、未実施 ②精神保健家族教室 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、未実施 ◆モバイルメンタルチェックシステム「こころの体温計」の実施 実施回数:80回(年間) 場所:保健所等 ◆こころの健康相談会 実施回数:1回(3/13日曜開催) 場所:保健所	現状維持	
ハンセン病問題解決に係る啓発事業 【健康福祉政策課】	ハンセン病回復者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、市民等を対象とした講演会の開催、ちらし・リーフレット等の配布によるハンセン病問題に関する啓発	◆ハンセン病問題をテーマにしたパネル展示 ①開催日 3月13日～18日 ②参加者数 224人	◆ハンセン病問題をテーマにしたパネル展示 ①開催日 2月19日～24日 ②参加者数 191人	現状維持	
食育推進事業 【健康づくり・介護予防課】	第2次枚方市食育推進計画(計画期間:H25～H29)の推進 小学5年生及び15歳以下の子どもを持つ保護者を対象とした「ひらかた食育Q&A」の配付 「枚方市食育推進ネットワーク会議」と連携し、ひらかた食育カーニバルを開催	◆「第3次枚方市食育推進計画」に基づく食育啓発 ①「ひらかた食育Q&A(改定版)」の配付(幼児用・小学生用・中高生用・大人用) 市内の保育所(園)、幼稚園、小中学校や、市主催の講座にて配付 配付数 10,741冊 ②「食育リーフレット」の配付 市内の保育所(園)、幼稚園、小中学校、各地域への回覧や、市関連施設等で配付 配付数 45,000部 ③「食育カレンダー」の配付 市内の小中学校の各教室分と、保育所(園)、幼稚園等に各1枚掲示できるよう配付 配付数 1,200枚 ◆ひらかた食育カーニバル <コロナで中止> コロナ禍において家庭での食事が増えていることを背景に、手軽で健康的なレシピを掲載した「枚方キッチン冊子」を作成。市関連施設等にて配布。 配布数 12,000部	◆「第3次枚方市食育推進計画」に基づく食育啓発 ①「ひらかた食育Q&A(改定版)」の配付(幼児用・小学生用・中高生用・大人用) 市内の保育所(園)、幼稚園、小中学校や、市主催の講座にて配付 配付数 10,650冊 ②「食育リーフレット」の配付 市内の保育所(園)、幼稚園、小中学校、各地域への回覧や、市関連施設等で配付 配付数 45,000部 ③「食育カレンダー」の配付 市内の小中学校の各教室分と、保育所(園)、幼稚園等に各1枚掲示できるよう配付 配付数 1,200枚 ◆ひらかた食育カーニバル オンライン開催 令和4年2月19日～3月19日 (令和4年2月1日よりプレオープン) 期間限定の特設サイトに各団体が作成したコンテンツを掲載。ライブ調理やオンラインセミナーの配信。 サイト閲覧者数:7,562人 サイト閲覧数:32,175回	現状維持	

主な事務事業	概要	事業内容		今後の方向性	備考
		具体的な取り組み(実績)			
		R2年度	R3年度		
健康づくり推進事業 【地域健康福祉室(健康増進・介護予防担当)】	健康づくりの知識の啓発及び意識の向上をめざし、各種講座の開催など取り組みを推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成者数 5人 フォローアップ研修参加者数 延べ 104人 ◆地区組織活動 参加者数 601人 ◆健康増進計画推進事業 健康医療福祉フェスティバル内 <コロナで中止> 「健康のつどい」 YouTube配信・展示会実施 ◆健康づくりエントリー等 健康ウォーキングイベント <コロナで中止> ひらかたカラダづくりトライアル エンジョイトライ 達成者数 807人 120日チャレンジ 達成者数 455人 ◆食育推進 食育カーニバル <コロナで中止> 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成者数 10人 フォローアップ研修参加者数 延べ 76人 ◆地区組織活動 参加者数 1,072人 ◆健康増進計画推進事業 健康医療福祉フェスティバル内 <コロナで中止> 「健康のつどい」 YouTube配信・展示会実施 ◆健康づくりエントリー等 健康ウォーキングイベント <コロナで中止> ひらかたカラダづくりトライアル エンジョイトライ 達成者数 1,323人 120日チャレンジ 達成者数 865人 ◆食育推進 食育カーニバル オンライン開催 	現状維持	
介護予防普及啓発事業 【健康づくり・介護予防課】	介護予防に関する知識を普及啓発するためのパンフレット等の配布、「高齢者健康づくりプロジェクト」「元気アップ総合講座などの健康や生きがいづくりのための講座などを開催	<p>〔主な啓発事業〕※緊急事態宣言発令中は、教室等は開催できていません</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆介護予防のためのご近所運動教室 ①開催回数 14回 ②参加者数 56人 ◆高齢者健康づくりプロジェクト ※緊急事態宣言のため開催できず ◆介護予防健康教育・健康相談 健康教育 ①開催回数 7回 ②参加者数 延べ 146人 健康相談 ①開催回数 288回 ②参加者数 302人 ◆高齢者元気はつらつ健康づくり事業 ①開催回数 8回 ②参加人数 107人 ◆地域元気づくり教室 ①開催回数 4回 ②参加者数 54人 ◆生涯現役地域づくり事業 ①開催回数 5回 ②参加者数 27人 ◆運動機能向上等の介護予防普及啓発事業 ①開催回数 84回 ②参加者数 1,580人 ◆ひらかた元気くらわんか体操普及啓発事業 ①開催回数 2回 ②参加者数 26人 ◆エクサルク教室 ①開催回数 236回 ②参加者数 1,806人 ◆ここから介護予防教室 ①開催回数 24回 ②参加者数 336人 	<p>〔主な啓発事業〕※緊急事態宣言発令中は、教室等は開催できていません</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆介護予防のためのご近所運動教室 ①開催回数 87回 ②参加者数 659人 ◆高齢者健康づくりプロジェクト ①開催回数 4回 ②参加者数 83人 ◆介護予防健康教育・健康相談 健康教育 ①開催回数 21回 ②参加者数 延べ333人 健康相談 ①開催回数 370回 ②参加者数 462人 ◆高齢者元気はつらつ健康づくり事業 ①開催回数 19回 ②参加人数 335人 ◆地域元気づくり教室 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より開催できず ◆生涯現役地域づくり事業 ①開催回数 13回 ②参加者数 106人 ◆運動機能向上等の介護予防普及啓発事業 ①開催回数 67回 ②参加者数 1,682人 ◆ひらかた元気くらわんか体操普及啓発事業 ①開催回数 22回 ②参加者数 412人 ◆ひらかた夢かなえるエクササイズ教室 ①開催回数 253回 ②参加者数 3,517人 ◆ここから介護予防教室 ①開催回数 42回 ②参加者数 532人 	現状維持	
ひきこもり等子ども・若者相談支援事業 【子ども相談課】	「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」などにより、ひきこもりやニート、不登校の子ども・若者の社会的自立に向けた総合的な支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ひきこもり・ニート等の子ども・若者の社会的自立支援にむけた取り組み 子ども・若者支援のための市民講座 「ひきこもり等の経験者からのメッセージ」 会場参加者数 20人 動画配信申し込み者数43人 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ひきこもり・ニート等の子ども・若者の社会的自立支援にむけた取り組み 子ども・若者支援のための市民講座 「これからの若者支援～本人も家族も孤立しないために～」 会場参加者数 62人 動画視聴回数 講演編:255回 窓口紹介編:287回 	現状維持	
自然保護啓発事業 【環境政策課】	都市に残された自然環境や市域に生息する動植物を守るとともに、人と自然が共生する環境づくりを推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然観察会の開催 ①「水辺の楽校」天野川 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ②「セミの抜け殻調査と自然工作」山田池公園 参加者数 36人 ③「葉っぱの観察と工作」サブリ村野 参加者数 20人 ④「山田池公園昆虫教室」山田池公園 雨天のため中止 ⑤「葉っぱや木の実でナチュラルアート」山田池公園 参加者数 35人 ◆講演会の開催 ①自然環境を考える講演会 枚方市市民会館 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然観察会の開催 ①「水辺の楽校」天野川 参加者 47人 ②「セミの抜け殻調査と自然工作」山田池公園 参加者数 34人 ③「葉っぱの観察と工作」サブリ村野 参加者数 14人 ④「山田池公園昆虫教室」山田池公園 参加者数 33人 ⑤「葉っぱや木の実でナチュラルアート」山田池公園 参加者数 31人 ◆講演会の開催 ①自然環境を考える講演会 枚方市市民会館 参加者数 36人 	現状維持	

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
ごみ減量化啓発事業 【ごみ減量推進課】	家庭ごみ減量のための「4R」の普及・啓発を基本に、ごみ問題についての関心や理解を深めるためごみ減量講演会やごみ減量フェア等を開催	<p>◆市民・事業者と連携・協力しながら、4Rの普及・啓発</p> <p>①生ごみ堆肥化の促進</p> <p>②環境学習の実施 ・小学校9校・中学校1校・高校1校・幼稚園等11園(コロナ禍により規模縮小)</p> <p>③ごみ減量啓発キャンペーン(公共施設)の実施 ・マイバッグ・マイボトル持参キャンペーン 0回 0人(コロナ禍で中止) ・台所ごみ水切りキャンペーン 3回 590人 ・手付かず食品削減キャンペーン 3回 978人</p> <p>④「食べのこサンデー」運動ロゴマークを活用した食品ロス削減に向けた取り組み ・市内5大学の学園祭で啓発ハンドティッシュを配布(コロナ禍で中止)</p> <p>⑤「ひらかた夢工房」市民ボランティアによる講習会・教室・発表会などを実施(コロナ禍で中止)</p> <p>⑥小・中学生による環境ポスターコンクールの作品展示(コロナ禍で中止)</p> <p>⑦ごみ減量フェアを開催 ・11月1日(日)開催(コロナ禍で中止)</p> <p>⑧ごみ減量講演会『食品ロスを減らす、冷蔵所の収納術』 ・令和3年2月18日(木)開催(コロナ禍で中止)</p>	<p>◆市民・事業者と連携・協力しながら、4Rの普及・啓発</p> <p>①生ごみ堆肥化の促進 ・小学校25校・中学校4校・高校1校・幼稚園等18園</p> <p>③ごみ減量啓発キャンペーン(公共施設)の実施 ・マイバッグ・マイボトル持参キャンペーン1回 200人に啓発グッズを配布 ・台所ごみ水切りキャンペーン2回 340人に啓発グッズを配布 ・手付かず食品削減キャンペーン4回 983人に啓発グッズを配布</p> <p>④「食べのこサンデー」運動ロゴマークを活用した食品ロス削減に向けた取り組み ・10月～3月末まで、公共施設・協力店舗・エコショップ登録店舗にポスター掲示 ・市内5大学の学園祭で啓発ハンドティッシュを配布(コロナ禍で中止)</p> <p>⑤「ひらかた夢工房」市民ボランティアによる講習会・教室・発表会などを実施 ・生ごみ堆肥化講習会 25人の参加 ・施設見学(枚方支援学校)50人</p> <p>⑥小・中学生による環境ポスターコンクールを実施 ・248点の応募</p> <p>⑦ごみ減量フェア ・11月7日(日)開催(コロナ禍で中止)</p> <p>⑧ごみ減量講演会『食品ロスを減らす、冷蔵所の収納術』 ・令和4年2月16日(木)開催 42人参加</p>	現状維持	
里山保全事業 【農業振興課】	「枚方市里山保全基本計画」に基づき、森林保全や維持管理等の里山保全活動を行う里山ボランティアを育成するため、里山保全や樹木に関する連続講座を実施。	里山楽校 全6回(講義、実習。)修了生14人 森林スペシャリスト育成講座 全10回(講義、実習。)修了生17人	里山楽校 全6回(講義、実習。)修了生18人 森林スペシャリスト育成講座については平成30年度～令和2年度の3年計画であり、検証の結果、継続しないと判断。	現状維持	
社会教育活動推進事業 (社会教育(人権)講座等) 【教育政策課】	社会教育(人権)講座などを通して、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を提供	<p>◆社会教育(人権)講座等の開催</p> <p>①枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」 参加者数 延べ1,284人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月1日から令和2年6月30日及び令和2年12月7日から令和3年2月28日は開催を中止。</p> <p>②社会教育人権啓発事業「大阪のおばちゃん」のスーパーコミュニケーション術！ ～まあい関係が何よりおトク！～(コロナで中止)</p>	<p>◆社会教育(人権)講座等の開催</p> <p>①枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」 参加者数 延べ1,067人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年4月25日から令和3年6月21日及び令和4年1月31日から令和4年3月21日は開催を中止。</p> <p>②あなたの身近にもいるLGBTQ+ ～レズビアン保健室の先生が伝える性の多様性～ 参加者 9人</p>	現状維持	
社会教育活動推進事業 (社会教育基礎講座) 【教育政策課】	社会教育基礎講座を通して、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を提供	<p>◆社会教育基礎講座の開催</p> <p>①地域歴史講座 第1回 初歩の初歩 蹉跎の歴史 参加者 25人</p> <p>②もしものときのための応急手当講座 参加者 16人</p>	<p>◆社会教育基礎講座の開催</p> <p>①地域歴史講座 第2回 初歩の初歩 川越(旧川越村地域)の歴史 参加者 40人</p> <p>②地域歴史講座 第3回 初歩の初歩 枚方地区(旧枚方町地域)の歴史 参加者 35人</p> <p>③地域歴史講座 第4回 初歩の初歩 枚方市東部(旧津田村・菅原村・氷室村地域)の歴史 参加者 37人</p> <p>④地域歴史講座 第5回 初歩の初歩 山田(旧山田村地域)の歴史 参加者 35人</p> <p>⑤地域歴史講座 第6回 初歩の初歩 牧野・招提(旧殿山町地域)の歴史 参加者 33人</p> <p>⑥地域歴史講座 第7回 初歩の初歩 楠葉(旧樟葉村地域)の歴史 参加者 38人</p>	現状維持	
社会教育活動推進事業 (家庭教育支援事業) 【教育政策課】	家庭教育支援事業を通して、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を提供	<p>◆家庭教育支援事業</p> <p>①親子でアート！ビーチグラスでモザイク画を作ろう！！ 参加者 34人</p> <p>②子育て応援！親学び講座(3回) 参加者数 延122人 (内1回はコロナで中止)</p> <p>③親子でマジシャンになろう！親子のコミュニケーションマジック講座！ 参加者32人</p> <p>④スマホが思春期に与えるホンマでっか！な影響について 参加者 9人</p> <p>⑤私にわかる方法で教えて～発達障害絵本「学校コワイ」に込めた思い～ (コロナで中止)</p>	<p>◆家庭教育支援事業</p> <p>①親子で楽しもう！LED工作教室～あかりについて楽しく学ぼう～ 参加者 15組32人</p> <p>②乳幼児期の今こそ！未来に向かう力(非認知能力)を育てよう！ 参加者 25人</p> <p>③教育講演会 絆～きずな～人生の道しるべは、うどんの鉢【新型コロナで中止】</p> <p>④私にわかる方法で教えて～発達障害絵本『学校コワイ』に込めた思い～ 参加者 33人</p> <p>⑤子育て応援！親学び講座 参加者 1人</p> <p>⑥親子で楽しむ リサイクル木工教室 参加者 8組17人</p> <p>⑦思春期のこころの世界とより良い見守り方 参加者 40人</p>	現状維持	

生涯学習推進基本指針進捗状況

1. 市民の学びを支える

(1) 学びのきっかけづくりと学びの場(機会)の提供

③ 学習機会に対する情報提供の充実

主な事務事業	概要	事業内容		今後の方向性	備考
		具体的な取り組み(実績)			
		R2年度	R3年度		
広報ひらかた発行事務 【広報プロモーション課】	多彩な情報を市民にわかりやすく提供し、紙面への市民参加やコミュニティの促進などを図るため、広報紙を月1回及び必要に応じて年4回を限度に特集号・臨時号を発行し、全戸配布。イベントや市政情報などをタイムリーに編集。視覚障害者向けの点字録音広報発行	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,264,000部	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 A4版の広報紙臨時号(4ページ)を年1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,475,900部	現状維持	
FM放送活用事業 【広報プロモーション課】	地域コミュニティFM局を活用した情報発信の充実をめざし、毎日、市政情報などを放送するとともに、災害時への対応として協定に基づく緊急割り込み放送による注意喚起を実施	①教育・地域活動・安全安心・環境・給食などについての15分番組7本を月曜～金曜の各曜日に放送 ②市内のイベントなどを紹介するシティインフォメーションや市域の交通情報を毎日数回放送 計946時間	①教育・地域活動・安全安心・環境・給食などについての15分番組7本を月曜～金曜の各曜日に放送 ②市内のイベントなどを紹介するシティインフォメーションや市域の交通情報を毎日数回放送 計1030時間	廃止	R4年2月末でエフエムひらかたが閉局
ホームページ活用事業 【広報プロモーション課】	様々な市政情報を迅速に提供するため、ホームページシステム(CMS)を活用し、注目情報などトップページの充実を図るとともに、ツイッターによる情報発信を実施	イベント情報など市政情報全般を随時更新して提供 年間アクセス数 4,573,367件 年間ユーザー数 4,564,048件	イベント情報など市政情報全般を随時更新して提供 年間アクセス数 4,152,969件 年間ユーザー数 5,338,957件	現状維持	
生涯学習事業 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:27,747件(内訳) ・一般団体利用 25,840件 ・行政による利用 536件 ・センターの主催や共催などによる利用 1,371件	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:42,005件(内訳) ・一般団体利用 38,174件 ・行政による利用 1,687件 ・センターの主催や共催などによる利用 2,144件	現状維持	

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
「なんでも、どこでも出前塾」実施事業 【文化生涯学習課】	各施策担当課職員が市民団体に出向き、市政について等を説明する「職員による出前講座」と生涯学習に係る情報を市HPで発信する「学びの情報ひろば」を組み合わせた事業。	◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 121件 開催件数 28件	◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 125件 開催件数 60件	現状維持	
環境教育推進事業(再掲) 【環境政策課】	環境教育出前講座を開催するとともに環境白書、環境副読本の発行・配布による環境情報の発信などにより、市民一人ひとりの年齢や社会的役割に応じた多様な環境教育の機会を提供	◆主な環境教育事業 ①幼児のための環境教育出前講座 開催数 11回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計11園 ②環境教育、学習プログラムの普及 ③環境白書、環境副読本、の発行や配布による環境情報の提供 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付	◆主な環境教育事業 ①幼児のための環境教育出前講座 開催数 27回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計24園 ②環境教育、学習プログラムの普及 ③環境白書、環境副読本、の発行や配布による環境情報の提供 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付	現状維持	

生涯学習推進基本指針進捗状況

1. 市民の学びを支える
(2)学びの場(場所)の提供

主な事務事業	概要	事業内容		今後の方向性	備考
		具体的な取り組み(実績)			
		R2年度	R3年度		
サプリ村野NPOセンター施設維持管理事業 【市民活動課】	NPOその他の市民団体に様々な分野における活動の場を提供、及び施設の維持管理	一時利用室(7室)利用件数 2,070件 利用率 37.8% 長期利用室(7室)利用団体 6団体 利用月数 計81月	一時利用室(7室)利用件数 3,221件 利用率 39.1% 長期利用室(7室)利用団体 6団体 利用月数 計84月	現状維持	
メセナひらかた会館施設維持管理事業 【文化生涯学習課】	市民に文化活動及び生涯にわたる学習活動の場を提供、及び施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 会館開所日数 179日 利用区分 537 ①施設専用使用 2,341件 ②個人共用使用利用者数 3,700人	令和4年度より総合文化芸術センター施設維持管理業務に移行	見直し	R3年度より総合文化芸術センターの別館と、名称を変更して開館。
総合文化芸術センター施設維持管理業務 【文化生涯学習課】	市民に文化活動及び生涯にわたる学習活動の場を提供及び施設の維持管理		◆指定管理者制度導入施設 ①本館 大ホール・小ホール・イベントホール 稼働率 78% 美術ギャラリー 利用率 88% 諸室 利用率 51% ②別館 諸室 利用率 33% トレーニングルーム 使用者数 1,968人	現状維持	
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:27,747件(内訳) ・一般団体利用 25,840件 ・行政による利用 536件 ・センターの主催や共催などによる利用 1,371件	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:42,005件(内訳) ・一般団体利用 38,174件 ・行政による利用 1,687件 ・センターの主催や共催などによる利用 2,144件	現状維持	
ふれあいホール運営事業 【文化生涯学習課】	美術工芸作品の発表・鑑賞の場を提供、及び施設の維持管理	【開催実績】 ①市主催展 開催回数 1回 総入場者数 91人 ②利用者展 開催回数 12回 総入場者数 3,453人	【開催実績】 ①市主催展 開催回数 1回 総入場者数 154人 ②利用者展 開催回数 8回 総入場者数 2,073人	終了	ふれあいホールは令和3年9月末をもって閉館となった。
市民ギャラリー運営事業 【文化生涯学習課】	市民に創作活動の発表と美術鑑賞の場を提供、及び施設の維持管理	【開催実績】 ①市主催展 開催回数 3回 総入場者数 2,676人 ②利用者展 開催回数 29回 総入場者数 11,141人	【開催実績】 ①市主催展 開催回数 3回 総入場者数 852人 ②利用者展 開催回数 19回 総入場者数 6,565人	終了	市民ギャラリーは令和3年9月末をもって閉館となった。
市民会館施設維持管理運営事業 【文化生涯学習課】	市民に文化活動及び生涯にわたる学習活動の場を提供及び施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 ①市民会館本館 利用率 41.5% ②市民ホール(大ホールロビー・小ホール) 利用率 40.5%	◆業務委託施設 ①市民会館本館 利用率 42.9% ②市民ホール(大ホールロビー・小ホール) 利用率 37.0%	廃止	枚方市市民会館は令和4年3月31日をもって廃止

主な事務事業	概要	事業内容		今後の方向性	備考
		具体的な取り組み(実績)			
		R2年度	R3年度		
生涯学習市民センター維持管理事業 【文化生涯学習課】	市民が枚方市立生涯学習市民センターを安全で快適に利用できるよう施設管理を実施	清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の点検、夜間・休日の警備等の委託の執行、施設・設備・備品の老朽化に伴う修繕や購入等を実施した。 令和2年度は、市有建築物保全計画に基づき、牧野・津田施設の昇降機更新工事、牧野施設の空調設備改修工事、菅原施設の屋根の改修工事を行った。	清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の点検、夜間・休日の警備等の委託の執行、施設・設備・備品の老朽化に伴う修繕や購入等を実施した。 令和3年度は、市有建築物保全計画に基づき、津田・蹠跣施設の外壁他改修工事、御殿山施設受変電設備の更新工事を行った。また、保全計画外で蹠跣施設の1階壁面工事、牧野施設の給水管の取替工事を行った。	現状維持	
総合福祉センター維持管理事業 【長寿・介護保険課】	高齢者や市民の健康と福祉の増進のために活動の場を提供、及び施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 センター開所日数282日 ①施設専用使用 5,285件 ②個人共用使用利用者数 6,160人	◆指定管理者制度導入施設 センター開所日数 308日 ①施設専用使用 8,430件 ②個人共用使用利用者数 12,363人	現状維持	
総合福祉会館維持管理事業 【健康福祉政策課】	市民に福祉活動の場を提供、及び施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 会館開所日数 347日 温水プール開所日数 132日 ①施設専用使用 3,156件 ②ラポールひらかた温水プール利用者数 13,940人	◆指定管理者制度導入施設 会館開所日数 347日 温水プール開所日数 232日 ①施設専用使用 5,536件 ②ラポールひらかた温水プール利用者数 25,393人	現状維持	
枚方公園青少年センター維持管理事業 【子ども青少年政策課】	青少年に学習と憩いの場を提供、及び施設の維持管理	◆利用件数 ①青少年利用 163件 ②一般団体利用 2,025件 ③行政による利用 213件 ④センター主催・共催利用 99件	◆利用件数 ①青少年利用 339件 ②一般団体利用 3,387件 ③行政による利用 269件 ④センター主催・共催利用 190件	現状維持	
教育文化センター維持管理事業 【教育研修課】	市民に教育活動・文化活動の場を提供及び施設の維持管理	◆一般団体の利用 ①件数 378件 ②利用者数 5,297人	◆一般団体の利用 ①件数 683件 ②利用者数 6,793人	現状維持	
総合スポーツセンター維持管理事業 【スポーツ振興課】	市民にスポーツ活動の場を提供。各種スポーツ教室の実施によるスポーツ機会の提供、施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 利用者数: 124,151人	◆指定管理者制度導入施設 利用者数: 214,397人	現状維持	
野外活動センター維持管理事業 【スポーツ振興課】	各種キャンプ教室や天体観測棟(ステラホール)を活用した天文教室などの実施による、市民が自然と触れ合う機会の提供、施設の維持管理	利用者数: 4,858人	利用者数: 8,125人	現状維持	
市立小学校体育施設開放事業 【新しい学校推進室】	土曜・日曜・祝日の8時～17時に市立小学校の体育施設を各小学校区の体育施設開放運営委員会のもと開放し、地域住民の利用を促進	◆体育館及び運動場の開放 学校開放件数: 6,236件	-	廃止	事務事業実績測定調査において、「市立小中学校及び幼稚園施設開放事業」に事業を統合したため、廃止の扱いとする。
市立小中学校及び幼稚園施設開放事業 【新しい学校推進室】	市民の身近な文化・スポーツ・地域活動の場として、学校園の教育及び施設の管理運営に支障のない範囲で小中学校のグラウンド・体育館・特別教室及び幼稚園遊戯室等を開放。 土曜・日曜・祝日の8時～17時に市立小学校の体育施設を各小学校区の体育施設開放運営委員会のもと開放し、地域住民の利用を促進	◆小中学校のグラウンド・体育館・特別教室及び幼稚園遊戯室等の開放 年間利用者数:352,821人	◆小中学校のグラウンド・体育館・特別教室及び幼稚園遊戯室等の開放 年間利用者数:573,784人	見直し	今回の調査で、項目を追加。利用者が固定化傾向にあることや学校の負担軽減、施設利用における受益者負担の徴収等の課題がある。
中央図書館運営事業 【中央図書館】	枚方市立図書館の核として図書館運営に係る企画立案、貸出サービス、読書活動の推進、関連機関との連携等の中心となり図書館サービスを提供	◆中央図書館 ①貸出冊数 523,931冊 ②予約受付件数 67,747件 ③延べ利用者数 199,703人 ④団体貸出 159団体 23,629冊 ⑤実利用者 48,230人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆中央図書館 ①貸出冊数 764,594冊 ②予約受付件数 64,135件 ③延べ利用者数 292,454人 ④団体貸出 788団体 17,272冊 ⑤実利用者 55,029人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	現状維持	
図書館分館運営事業 【中央図書館】	図書館サービスにおける地域の拠点として、中央図書館および図書館分室と連携しながら、図書館資料の貸出やレファレンスサービス等の図書館サービスを提供	◆分館 ①貸出冊数 1,743,806冊 ②予約受付件数 554,577件 ③延べ利用者数 830,733人 ④団体貸出 233団体 20,367冊 ⑤実利用者 48,230人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆分館 ①貸出冊数 2,586,621冊 ②予約受付件数 626,617件 ③延べ利用者数 1,225,661人 ④団体貸出 2,581団体 29,981冊 ⑤実利用者 55,029人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	現状維持	

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
図書館分室運営事業 【中央図書館】	分館の利用が困難だが比較的人口が集中している地域に設置し、中央図書館および分館と連携しながら、図書館資料の貸出や読書支援等の図書館サービスを提供	◆分室及び市駅前サービススポット ①貸出冊数 392,051冊 ②予約件数 174,622件 ③延べ利用者数 190,942人 ④団体貸出 42団体 3,840冊 ⑤実利用者 48,230人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆分室及び市駅前サービススポット ①貸出冊数 44,7137冊 ②予約件数 171,358件 ③延べ利用者数 219,269人 ④団体貸出 346団体 4,814冊 ⑤実利用者 55,029人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	現状維持	
旧田中家鋳物民俗資料館維持管理事業 【文化財課】	枚方に古くから残る鋳物の歴史や民具を活用し、枚方の歴史や人々の暮らしについての認識を深め、郷土愛を育てる機会の提供、施設の維持管理	年間開館日数 190日 年間入館者数 3,874人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4・5月、12/7～2/28は休館とした。	年間開館日数 259日 年間入館者数 4,213人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4/26～6/20は休館とした。	現状維持	
枚方宿鍵屋資料館維持管理事業 【文化財課】	枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について認識を深めるとともに、郷土愛を育てる機会の提供、施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 年間開館日数 189日 年間入館者数 3,784人 ※4・5月、12/7～2/28は、新型コロナウイルス感染症の影響により、見学停止。	◆指定管理者制度導入施設 年間開館日数 259日 年間入館者数 5,725人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4/26～6/20は休館とした。	現状維持	

生涯学習推進基本指針進捗状況

2. 学びの成果の活用を支える

(1) 学びの成果を活用できる場の提供

主な事務事業	事業内容				今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R2年度		R3年度			
ひらかた人形劇フェスティバル支援事業 【文化生涯学習課】	枚方人形劇連絡会・市・文化国際財団・指定管理者の4者で実行委員会を組織・運営する「ひらかた人形劇フェスティバル」を支援	【開催目的】 市内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと 【事業内容】 ・2月27日 プレフェスティバル(総合文化芸術センター別館) コロナのため中止 ・3月20日 本フェスティバル(牧野生涯学習市民センター) 延べ425人		【開催目的】 市内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと 【事業内容】 ・3月19日の開催を予定していたが、コロナのため中止		現状維持	
市民企画イベント促進事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が企画する、広く市民を対象とする文化芸術に係る事業を実施しようとする団体に対して支援を実施	【実施実績】 ①申請団体数 1団体 ②支援団体数 1団体		【実施実績】 ①申請団体数 7団体 ②支援団体数 5団体		現状維持	
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数: 27,747件(内訳) ・一般団体利用 25,840件 ・行政による利用 536件 ・センターの主催や共催などによる利用 1,371件		◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数: 42,005件(内訳) ・一般団体利用 38,174件 ・行政による利用 1,687件 ・センターの主催や共催などによる利用 2,144件			
市民ギャラリー運営事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民に創作活動の発表と美術鑑賞の場を提供	【開催実績】 ①市主催展 開催回数 3回 総入場者数 2,676人 ②利用者展 開催回数 29回 総入場者数 11,141人		【開催実績】 ①市主催展 開催回数 3回 総入場者数 852人 ②利用者展 開催回数 19回 総入場者数 6,565人		終了	市民ギャラリーは令和3年9月末をもって閉館となった。
ふれあいホール運営事業(再掲) 【文化生涯学習課】	美術工芸作品の発表・鑑賞の場として、また市民が交流を深めることができる施設として管理運営を実施	【開催実績】 ①市主催展 開催回数 1回 総入場者数 91人 ②利用者展 開催回数 12回 総入場者数 3,453人		【開催実績】 ①市主催展 開催回数 1回 総入場者数 154人 ②利用者展 開催回数 8回 総入場者数 2,073人		終了	ふれあいホールは令和3年9月末をもって閉館となった。

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
枚方フェスティバル協議会支援事業 【観光交流課】	伝承文化等を生かした市民の自主的な活動を促進し、まちの賑わいを創出するため、枚方まつりなどを開催する「枚方フェスティバル協議会」を支援	<p>◆主なまつり</p> <p>①くらわんかフェスティバルin枚方2020(11月22日) 参加者数 約300人</p> <p>②ひらかたNPOフェスタ2020(1月24日～3月31日) WEB開催</p> <p>※枚方ふれあいフェスティバル、枚方まつりなどは新型コロナウイルス感染症の影響で中止。</p>	<p>◆主なまつり</p> <p>①枚方まつり2021(8月28・29日) WEB開催</p> <p>②くらわんかフェスティバルin枚方2021(11月3日) 参加者数 約800人</p> <p>③市民芸能ファンタジー(11月20日) 参加者数 約1,000人</p>	現状維持	
菊人形支援事業 【観光交流課】	市民による菊人形づくりを支援	<p>①「ひらかた菊フェスティバル」期間中に市役所周辺等へ菊人形9体を展示</p> <p>②京阪枚方市駅2階中央コンコースにて3月中旬～4月中旬まで市の花「桜」にちなんだ衣装人形を2体展示。7月上旬に七夕にちなんだ衣装人形を2体展示。枚方市緑化フェスティバルは新型コロナウイルス感染症の影響で中止。</p>	<p>①「ひらかた菊フェスティバル」期間中に市役所周辺等へ菊人形計8体を展示</p> <p>②京阪電車枚方市駅2階コンコースへの展示</p> <p>1. 10月上旬～11月中旬まで造花人形を展示</p> <p>2. 例年展示を行っていた、桜にちなんだ衣装人形・七夕にちなんだ造花人形の展示については、新型コロナウイルス感染症の影響による会の活動自粛のため中止となった。</p> <p>③緑化フェスティバルへの出展は新型コロナウイルス感染症の影響により同イベントが中止となったため行わなかった。</p>	現状維持	

生涯学習推進基本指針進捗状況

2. 学びの成果の活用を支える

(2) 学びの成果を活用できる仕組みづくり

主な事務事業	概要	事業内容		今後の方向性	備考
		具体的な取り組み(実績)			
		R2年度	R3年度		
消費者等教育啓発事業 【消費生活センター】	地域における消費者被害未然防止のための情報提供など啓発活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域啓発リーダーによる啓発紙の配布 各地域において啓発紙「月刊くらしの赤信号」を配布 ◆地域啓発リーダー養成講座、フォローアップ研修、街頭啓発 新型コロナウイルスの影響により中止 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域啓発リーダーによる啓発紙の配布 各地域において啓発紙「月刊くらしの赤信号」を配布 ◆地域啓発リーダー養成講座、フォローアップ研修、街頭啓発 新型コロナウイルスの影響により中止 	現状維持	
「なんでも、どこでも出前塾」実施事業(再掲) 【文化生涯学習課】	各施策担当課職員が市民団体に出向き、市政について等を説明する「職員による出前講座」と生涯学習に係る情報を市HPで発信する「学びの情報ひろば」を組み合わせた事業。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 121件 開催件数 28件 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 125件 開催件数 60件 	現状維持	
認知症総合支援事業 【健康福祉総合相談課】	認知症を正しく理解し見守る認知症サポーターを養成	<ul style="list-style-type: none"> ◆認知症サポーター養成講座 ①開催回数 18回 ②養成人数 402人 	<ul style="list-style-type: none"> ◆認知症サポーター養成講座 ①開催回数 30回 ②養成人数 876人 	現状維持	

生涯学習推進基本指針進捗状況

3. つながりを支える

(1) 学ぶもの同士のつながりを支える

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
広報ひらかた発行事務 【広報プロモーション課】(再掲)	多彩な情報を市民にわかりやすく提供し、紙面への市民参加やコミュニティの促進などを図るため、広報紙を月1回及び必要に応じて年4回を限度に特集号・臨時号を発行し、全戸配布。イベントや市政情報などをタイムリーに編集。視覚障害者向けの点字録音広報発行	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,264,000部	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 A4版の広報紙臨時号(4ページ)を年1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,475,900部	現状維持	
生涯学習市民センター活動委員会事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市内各生涯学習市民センターで市民と行政が協働(活動委員会)で生涯学習事業を実施	子育て、障害者の生活など、同じ境遇や同じ悩みを持った人とのふれあい事業 ◆菅原生涯学習市民センターの活動委員会事業 ①子育て井戸端会議 コロナのため中止 ②子だくさんの会 コロナのため中止 ③うつ病情報交流会 開催回数: 3回(4~9・12・1月はコロナのため中止) 参加人数: 延べ20人	子育て、障害者の生活など、同じ境遇や同じ悩みを持った人とのふれあい事業 ◆菅原生涯学習市民センターの活動委員会事業 ①子育て井戸端会議 4回 3人(内3回は申込者なしのため中止) ②子だくさんの会 4回予定していたが、申込者なしのため開催なし ③うつ病情報交流会 開催回数: 12回(内1回はコロナのため中止) 参加人数: 延べ58人	現状維持	
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠蹠・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠蹠・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:27,747件(内訳) ・一般団体利用 25,840件 ・行政による利用 536件 ・センターの主催や共催などによる利用 1,371件	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠蹠・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠蹠・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:42,005件(内訳) ・一般団体利用 38,174件 ・行政による利用 1,687件 ・センターの主催や共催などによる利用 2,144件	現状維持	
地域子育て支援拠点事業 【私立保育幼稚園課】	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置 地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、健やかな育ちを促進	◆子育て支援拠点 13ヶ所 6私立保育所(園)、3公立保育所、1(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内) 〔主な事業〕 ・子育て親子の交流の場の提供 ・子育て等に関する相談 ・地域の子育て関連情報の提供 ・講習等 ◆年間利用親子数:24,752人	◆子育て支援拠点 13ヶ所 6私立保育所(園)、3公立保育所、1(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内) 〔主な事業〕 ・子育て親子の交流の場の提供 ・子育て等に関する相談 ・地域の子育て関連情報の提供 ・講習等 ◆年間利用親子数:33,936人	現状維持	令和3年度開催状況 子育てイベント:4月17日~9月30日まで中止。10月1日以降は飲食を伴うイベント以外規模を縮小して再開。 ひろば開放:4月25日~6月20日まで中止

生涯学習推進基本指針進捗状況

3. つながりを支える

(2) 市民・事業者・大学・地域のつながりを支える

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	<p>◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 <p>◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:27,747件(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般団体利用 25,840件 ・行政による利用 536件 ・センターの主催や共催などによる利用 1,371件 	<p>◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 <p>◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:42,005件(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般団体利用 38,174件 ・行政による利用 1,687件 ・センターの主催や共催などによる利用 2,144件 	現状維持	
ひらかた市民大学開催事業(再掲) 【文化生涯学習課】	学園都市ひらかた推進協議会事業として開催 市内5大学との連携・協力により、特色ある各大学の専門知識等を生かして学習できる講座を市民に提供	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施。令和2年度は実施希望のあった2大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 61人 ②大阪歯科大学 40人	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施。令和3年度は市内全5大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 49人 ②大阪歯科大学 28人 ③関西外国語大学 36人 ④大阪工業大学 50人 ⑤摂南大学 26人	現状維持	
子ども大学探検隊事業 【文化生涯学習課】	学園都市ひらかた推進協議会事業として開催 市内5大学と連携し、市内の小学生を対象に大学での学習体験を実施	新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず	小学生向け「子ども大学探検隊」を開催。令和3年度は、希望のあった市内2大学で開催。 ◆開催大学と参加者数 ①大阪歯科大学 15人 ②関西外国語大学 54人	現状維持	
ひらかた人形劇フェスティバル支援事業(再掲) 【文化生涯学習課】	枚方人形劇連絡会・市・文化国際財団・指定管理者の4者で実行委員会を組織・運営する「ひらかた人形劇フェスティバル」を支援	<p>【開催目的】</p> <p>市内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月27日 プレフェスティバル(総合文化芸術センター別館) コロナのため中止 ・3月20日 本フェスティバル(牧野生涯学習市民センター) 延べ425人 	<p>【開催目的】</p> <p>市内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月19日の開催を予定していたが、コロナのため中止 	現状維持	
地域活性化支援センター運営事業(産学公連携関係) 【商工振興課】	市内経済の活性化を図るため、地域の企業、大学、市、ひらかた地域産業クラスター研究会などの連携により、フォーラムを開催	<p>◆産学公連携フォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ①開催日 2021年1月23日(土) ②参加人数 84人 ③開催場所 オンライン開催 ④テーマ AIは活用できる!最新テクノロジーの実装と生産性向上 <p>・成果発表 AI×画像認識・解析を活用した芯取り機の進化 ・研究発表 AI×データによる社会と地域の課題解決</p>	<p>◆産学公連携フォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ①開催日 2021年12月4日(土) ②参加人数 92人 ③開催場所 枚方市立地域活性化支援センター ④テーマ デジタル化推進による新たな価値の創造と生産性向上 <p>・事例発表 ①基幹システム導入 ②SRF無線プラットフォームの社会展開 ・研究発表 イノベーション大賞の研究発表と表彰 ・パネルディスカッション第1部 デジタル化推進と産学公連携について ・パネルディスカッション第2部 若手経営者が直面している経営課題について</p>	現状維持	

主な事務事業	概要	事業内容		今後の方向性	備考
		具体的な取り組み(実績)			
		R2年度	R3年度		
社会教育活動推進事業(社会教育【人権】講座等) 【教育政策課】	多文化共生の環境づくりの推進として、日本語の読み書きや話しができず、日常生活に支障がある市民に対し、市内6箇所の生涯学習市民センターにおいて日本語の学習などを行う教室「よみかき」を開催	【開催実績】 ①楠葉 51回 参加延べ人数 302人 ②サンブラザ 40回 参加延べ人数 352人 ③さだ 48回 参加延べ人数 212人 ④牧野 70回 参加延べ人数 151人 ⑤津田 59回 参加延べ人数 144人 ⑥菅原 59回 参加延べ人数 123人 合計 327回 参加延べ人数 1,284人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月1日から令和2年6月30日及び令和2年12月7日から令和3年2月28日は開催を中止。	【開催実績】 ①楠葉 67回 参加延べ人数 261人 ②サンブラザ 79回 参加延べ人数 112人 ③さだ 56回 参加延べ人数 212人 ④牧野 89回 参加延べ人数 139人 ⑤津田 70回 参加延べ人数 179人 ⑥菅原 61回 参加延べ人数 164人 合計 422回 参加延べ人数 1,067人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年4月25日から令和3年6月21日及び令和4年1月31日から令和4年3月21日は開催を中止。	現状維持	
国際交流推進事業 【観光交流課】	国際交流活動への支援・促進、海外諸都市との友好交流、国際理解に関する講座、市民と在住外国人との交流等、国際交流推進に係る事業を実施する。	◆国際交流事業 中国語、イタリア語、ベトナム語の語学講座のほか国際(韓国)料理教室や国際理解講座(ベトナム料理教室)を実施	枚方市文化国際財団の解散に伴い、同財団の事業を観光交流課が引継ぎ実施した。 ◆国際交流事業 国際理解講座(ベトナム料理教室・中国家庭料理教室)や外国人のための一日相談会等を実施。 上海市長寧区市民訪問団派遣等の海外友好都市交流事業については、新型コロナウイルスの影響により、中止。	現状維持	
朝鮮語教室運営事業(再掲) 【文化生涯学習課】	ハンゲルの学習を通じて、隣国である朝鮮半島の歴史、文化、風俗、習慣、生活、儀礼を理解し、同じ地域社会の構成員としての交流を深め、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流を推進	【開催実績】 ①参加延べ人数 418人 ②開催場所 サンブラザ生涯学習市民センター ③開催回数 22回(年間)(コロナのため一部期間で事業を中止)	【開催実績】 ①参加延べ人数 937人 ②開催場所 サンブラザ生涯学習市民センター ③開催回数 36回(年間)	現状維持	
健康・医療・福祉フェスティバル開催事業 【健康福祉政策課】	医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、枚方市の共催で「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催	【開催実績】 新型コロナウイルス感染症拡大によりフェスティバルは中止した。 8020達成者表彰のみ、表彰式は開催せず表彰状を発送する形で実施。 被表彰者151名	【新型コロナで中止】 本フェスティバル実行委員会の構成団体に意向確認を行ったうえで開催中止を決定。8020達成者表彰のみ、表彰式は開催せず表彰状を発送する形で実施。被表彰者288名 【参考：令和元年度実績】 ①開催日 10月27日(日) ②参加者数 延べ8,053人 ③開催場所 ラポールひらかた、メセナひらかた会館 ④内容 AEDプロレス、健康相談コーナー、8020達成者表彰式、こども薬剤師体験等	現状維持	
健康医療都市ひらかた推進事業 【健康福祉政策課】	行政、団体、大学、病院で構成する「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、市民の健康増進や地域医療のさらなる充実をめざし、連携事業を展開	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体 14団体と連携団体 2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康と医療に関する情報発信等を行う。 コンソーシアムの連携事業として、以下の事業を実施。 ①災害医療対策のための連携事業 ②地域完結型医療実現のための連携事業 ③こころの健康増進のための連携事業 ④健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ⑤母と子どもの健康支援のための連携事業 ⑥健康・医療アカデミー創設による連携事業 ⑦健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ⑧健康・医療に関する情報発信のための連携事業 ◆コンソーシアム連携事業の参加者数 563人 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した研修会イベント等多数)	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体 14団体と連携団体 2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康と医療に関する情報発信等を行う。 コンソーシアムの連携事業として、以下の事業を実施。 ①災害医療対策のための連携事業 ②地域完結型医療実現のための連携事業 ③こころの健康増進のための連携事業 ④健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ⑤母と子どもの健康支援のための連携事業 ⑥健康・医療アカデミー創設による連携事業 ⑦健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ⑧健康・医療に関する情報発信のための連携事業 ◆コンソーシアム連携事業の参加者数 1,012人 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した研修会イベント等多数)	現状維持	
コミュニティソーシャルワーカー配置事業 【健康福祉政策課】	地域の高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を要するあらゆる者又はその家族・親族等の支援を通じて、地域福祉の向上と自立生活支援のための基盤作りを実施	◆いきいきネット相談支援センター 市内5施設6ヵ所に福祉に関する地域相談員を配置(令和2年度より、枚方市役所健康福祉総合相談窓口に増設) ◆福祉に関するサービスや生活上の困りごとなど幅広く福祉に関する相談を実施 ◆地域団体・専門機関と連携し、見守りやサービス等の調整 ◆複合する課題や公的なサービスだけでは対応できない人への支援体制づくり 令和2年度はのべ8,999件の相談を受け付けた。	◆いきいきネット相談支援センター 市内5ヵ所に福祉に関する地域相談員を配置(東エリアと北エリアが統合し、令和4年2月に「社協ルファルひらかた」が開所したため、昨年度より1拠点減となった。) ◆福祉に関するサービスや生活上の困りごとなど幅広く福祉に関する相談を実施 ◆地域団体・専門機関と連携し、見守りやサービス等の調整 ◆複合する課題や公的なサービスだけでは対応できない人への支援体制づくり 令和3年度はのべ8,522件の相談を受け付けた。	拡充	令和4年度より「重層的支援体制整備事業」として実施し、多機関との連携を強化することとなったため、拡充としたもの

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
「まなびング」サポート事業 【教育指導課】	小中学校において、学習指導をサポートする大学生等を配置することにより、児童・生徒の学ぶ機会を充実	授業や放課後の時間に、教職を志望する大学生等を学習指導のサポーターとして配置し、児童・生徒の学習活動を支援 【開催実績】 ①実施場所 市立小中学校 38校 ②活動人数 92名	授業や放課後の時間に、教職を志望する大学生等を学習指導のサポーターとして配置し、児童・生徒の学習活動を支援 【開催実績】 ①実施場所 市立小中学校 44校 ②活動人数 118名	現状維持	
部活動指導協力者派遣事業 【教育指導課】	中学校部活動の活性化や充実、及び顧問教員の生徒指導や授業研究の時間確保のため、専門的な知識や技能を有する指導協力者を派遣	市立中学校全19校の必要とする部活動に、専門的な知識・技能をもった指導者の派遣 【派遣実績】 ①実施場所 市立中学校全19校 ②派遣した回数 延べ 4,491回	市立中学校全19校の必要とする部活動に、専門的な知識・技能をもった指導者の派遣 【派遣実績】 ①実施場所 市立中学校全19校 ②派遣した回数 延べ 4,468回	現状維持	
学校支援社会人等指導者活用事業 【教育指導課】	学校園において、優れた知識や技能を有する多様な人材を活用することにより、学校園と地域の連携を深め、幼児・児童・生徒の学習意欲や将来への夢をはぐくむ。	学校支援社会人等指導者による本の読み聞かせやストーリーテリング、和楽器指導、環境教育等の指導 【開催実績】 ①実施場所 市立学校園65校園 ②実施回数 1,074回	学校支援社会人等指導者による各教科における学習支援や本の読み聞かせやストーリーテリング、菊の栽培、放課後学習の支援、環境教育等の指導 【開催実績】 ①実施場所 市立学校園56校園 ②実施回数 1,431回	現状維持	
子どもの居場所づくり補助事業 【子ども青少年政策課】	家で一人で食事をとる等の環境にある子どもに対し「食事の提供」を通じて居場所づくりに取り組む団体(NPO団体、地域団体等)に対し、運営経費などを支援。	◆子どもの居場所づくりに取り組む団体に補助金を交付 ①実施団体数 20団体 ②延べ開催回数 217回 ③子どもの平均参加人数(1回当たり) 28人	◆子どもの居場所づくりに取り組む団体に補助金を交付 ①実施団体数 19団体 ②延べ開催回数 282回 ③子どもの平均参加人数(1回当たり) 36人	拡充	全小学校区への配置を目指す。

生涯学習推進基本指針進捗状況

3. つながりを支える
(3) 世代間交流を支える

主な事務事業	事業内容		今後の方向性	備考	
	概要	具体的な取り組み(実績)			
		R2年度			R3年度
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	<p>◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 先行導入している2施設(蹠野・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠野・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 <p>◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:27,747件(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般団体利用 25,840件 行政による利用 536件 センターの主催や共催などによる利用 1,371件 	<p>◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 先行導入している2施設(蹠野・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠野・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 <p>◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:42,005件(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般団体利用 38,174件 行政による利用 1,687件 センターの主催や共催などによる利用 2,144件 	現状維持	
地域子育て支援拠点事業(再掲) 【私立保育幼稚園課】	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置 地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、健やかな育ちを促進	<p>◆子育て支援拠点 13ヶ所</p> <p>6私立保育所(園)、3公立保育所、1(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぷり(サブリ村野内)</p> <p>[主な事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て親子の交流の場の提供 子育て等に関する相談 地域の子育て関連情報の提供 講習等 <p>◆年間利用親子数:24,752人</p>	<p>◆子育て支援拠点 13ヶ所</p> <p>6私立保育所(園)、3公立保育所、1(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぷり(サブリ村野内)</p> <p>[主な事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て親子の交流の場の提供 子育て等に関する相談 地域の子育て関連情報の提供 講習等 <p>◆年間利用親子数:33,936人</p>	現状維持	令和3年度開催状況 子育てイベント:4月17日~9月30日まで中止。10月1日以降は飲食を伴うイベント以外規模を縮小して再開。 ひろば開放:4月25日~6月20日まで中止
枚方子どもいきいき広場補助事業 【放課後子ども課】	地域の主体的な取り組みとして、これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的に、小学校で児童健全育成事業を実施する団体に対し支援	<p>◆各校区で事業に取り組む団体に補助金を交付</p> <p>①実施日数 1校区 平均 9.97日 ②参加児童数 延べ10,287人 ③参加ボランティア等数 延べ4,205人</p>	<p>◆各校区で事業に取り組む団体に補助金を交付</p> <p>①実施日数 1校区 平均 12.33日 ②参加児童数 延べ12,782人 ③参加ボランティア等数 延べ4,967人</p>	現状維持	
社会教育活動推進事業 (家庭教育支援事業)(再掲) 【教育政策課】	家庭教育支援事業を通して、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を提供	<p>◆家庭教育支援事業</p> <p>①親子でアート!ピーチグラスでモザイク画を作ろう!! 参加者 34人 ②子育て応援!親学講座(3回) 参加者数 延122人(内1回はコロナで中止) ③親子でマジシャンになろう!親子のコミュニケーションマジック講座! 参加者32人 ④スマホが思春期に与えるホンマでっか!な影響について 参加者 9人 ⑤私にわかる方法で教えて~発達障害絵本「学校コワイ」に込めた思い~(コロナで中止)</p>	<p>◆家庭教育支援事業</p> <p>①親子で楽しもう!LED工作教室~あかりについて楽しく学ぼう~ 参加者 15組32人 ②乳幼児期の今こそ!未来に向かう力(非認知能力)を育てよう! 参加者 25人 ③教育講演会 絆~きずな~人生の道しるべは、うどんの鉢【新型コロナで中止】 ④私にわかる方法で教えて~発達障害絵本『学校コワイ』に込めた思い~ 参加者 33人 ⑤子育て応援!親学講座 参加者 1人 ⑥親子で楽しむ リサイクル木工教室 参加者 8組17人 ⑦思春期のこころの世界とより良い見守り方 参加者 40人</p>	現状維持	
中央図書館運営事業(再掲) 【中央図書館】	枚方市立図書館の核として図書館運営に係る企画立案、貸出サービス、読書活動の推進、関連機関との連携等の中心となり図書館サービスを提供	<p>◆主な子ども読書活動推進事業</p> <p>①読み聞かせボランティア養成講座 絵本の読み聞かせボランティア養成講座…新型コロナの影響で中止 ②子ども読書活動等推進ボランティア交流会・研修会・実習…新型コロナの影響で中止 ③読書ボランティアの夏休みおはなし会 参加ボランティア数 6団体 参加人数 63人</p>	<p>◆主な子ども読書活動推進事業</p> <p>①読み聞かせボランティア養成講座 絵本の読み聞かせボランティア養成講座…講座(2回) 延べ参加人数 44人 実践(1回) 延べ参加人数 40人 ②子ども読書活動等推進ボランティア交流会・研修会・実習 延べ参加人数 23人 ③読書ボランティアの夏休みおはなし会 参加ボランティア数 12団体 参加人数 192人</p>	現状維持	